

川大尉ヲ訪問シ全十九日其記事ヲ新報紙上ニ發表セシ所
今大尉ノ談話中

「當所ノ職ニ自カラ東京邊リ迄出掛ケテ示威運動ニ加
ハラストモ唯默シ温順シテユ揚ニ働イテ居テ而カモ解雇手
當ヲ受ル場合ハ平等ニ與ヘラレカト云フアレラレイ」云々
ニ對シ

職ニ側ハ之ヲ「意氣地ナキモノ、如ク輕視セラレタルト曲解
シ更テタニ請教示威運動ヲ希望シツ、アル會員等ハ
此場合ニ於テ是非示威運動ヲナスベク西浦支部長ニ直
リタルモノ、如ク今支部長ハ一應示威運動ノ有効ナラサル
ヲ説キタルモ大勢ノ抑ス所止ムナク
ニ面會員ノ結束ヲ固ムル意味ニ於テ

(大正學堂刊)

逆ニ之ヲ決行スルニ至レリト

一、熱田兵器製造所側ニ於テハ此運動ヲ豫知スルト同時ニ
之レガ防止策トシ俄ニ廿九日ノ日曜休業ヲ五日(旧正月元旦ト
ノロ術ヲ以テニ変更スル旨發表アリタルニ却テ壓迫ノ聲ヲ高
メ廿八日、廿九日ノ兩日ヲ休業セシモノナリト

二月三日日新愛知紙上「更ニ普選ノ示威運動ニ旨行
ハレシハ全ク事實無根ニシテ新報誤報ナリ蓋シ今
日運動ニ付テ小旗二千本(此價五拾弍)ヲ送リ全會員
ニ渡シタルモ若シ其儘各自持歸リハ全ク無益ニ捨ツル、ミ
西浦支部長ハ茲ニ一策ヲ案ハ解散ノ際全會員ニ對シ
「小旗ハ他日又使用スルフトモアルヤモ計リ難ク夫レ冬幹
事部ノ手許ニ集メ置カレタリト